

企画名： 『放射能外部被曝と内部被曝はどう違うか』  
『何でも質問会「広がる内部被曝をどうしたらよいか」』

実施日時： 1月15日（日）10：00～11：30、13:40-15:10

実施場所： パシフィコ横浜会議センター 4F 414+415

登壇者： 澤田昭二（名古屋大学名誉教授・素粒子物理学）  
松井英介（岐阜環境医学研究所所長・放射能医学・呼吸器病学）  
大石又七（第五福竜丸元乗組員）  
矢ヶ崎克馬（琉球大学名誉教授・物性物理学）  
高橋博子（広島市立大学広島平和研究所講師・アメリカ史）  
西尾正道（北海道がんセンター院長）

参加人数： 約150名

文責： 田代真人(内部被曝研事務局)

10時～11時30分「講演・外部被曝と内部被曝はどう違うか講演者・高橋博子、澤田昭二

13時40分～15時10分「内部被曝 なんでも質問会」

当日まで、どれくらいの方が参加されるのか予想がつかなかったため、不安な状態で会場をオープンさせたが、開会直後の午前10時からの講演は、100人を超える人が参加。

高橋博子「内部被曝の隠された歴史について」澤田昭二「放射線外部被曝と内部被曝はどう違うか」澤田さんは、予定時間を30分以上もオーバーする熱弁。会場からの質問も数多く、終わったのが、12時半近く、1時間も延長する事態となりました。

午後13時40分からの「なんでも質問会」200人ほどが参加。会場の後ろ、両側にも人が立ち、演壇近くにも座っていただくほどの盛況となり、入場をお断りした方もたくさんいらっしゃいました。参加できなかった方にはこの場を借りてお詫びを申し上げます。すべてが質問と回答とあって、熱気にあふれる会場となりました。

澤田昭二、松井英介、第五福 竜丸元乗組員・大石又七、矢ヶ崎克馬、高橋博子、北海道がんセンター院長・西尾正道（敬称略）がずらりと前に並ぶ姿は、壮観でさえありました。場内に溢れんばかりの参加者から質問があいつぎ、会場は期待と緊張に包まれました。司会の松井英介も汗だく、プログラムの都合で次の企画に会場を開け渡す時間がせまり、途中で打ち切らざるを得ませんでした。

この日、事務局として立ち働いてくれたのは、

私・田代のほか、

石田伸子（正会員、放射能から子供を守る全国ネットワーク事務局）

岩田 渉（呼びかけ人、放射能市民測定室）

隅田聡一郎（呼びかけ人、セイ・ピース代表）

吉田邦博（正会員、南相馬市） 牟田おりえ（呼びかけ人） 市川恵子（HP運営）の6人。

この日の企画には、北海道、福島、首都圏、中部・近畿・中国圏、沖縄まで全国から当会の「呼びかけ人」、「会員」が参加してくれた。この場で厚くお礼を申し上げます。

参考文献：

当会紹介のためのブックレット「内部被曝からいのちを守るなぜいま内部被曝研を結成したのか」

（旬報社・税抜き1200円）

